

上場会社として東京オリンピックを迎えるためのIPOセミナー

# IPO銘柄に選ばれる会社の条件

## Good CompanyとBad Companyの分水嶺

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

第三次安倍内閣が始動し、長期政権下でアベノミクス成長戦略は続行されることになりましたが、まだ道半ばであると共に激変する世界経済における日本の立ち位置もさまざまな変化の中にあり、会社間の経営判断の差で成長力が大きく異なる時代を迎えています。また、オリンピック特需により、各種インフラ整備、小売・サービス業の強化、その他関連産業の発展が予想されますが、2020年以後にプラス要因を見いだせない日本経済は混沌とする可能性もあり、今のうちに自社の経営体制を万全にしておかなければ真の勝ち組にはなれません。

このような中で、上場会社となって経営体質を強化しておくことは勝ち組として生き残る選択肢の一つといえます。すなわち、IPO銘柄として選ばれることは、Good Companyの登竜門であり、上場準備作業は長期的な業績向上と企業防衛を計るための整備プロセスを多く含んでいるからです。

今からIPO準備作業を行い、早期上場が実現すれば、2020年オリンピックイヤーまでに上場会社となるチャンスが十分あります。さらに、まず新興市場にIPOしたのちに2020年までに東証第一部まで到達するように上場準備作業を進めることも現時点で決断すれば可能なタイミングにあります。

本セミナーを通じてGood Companyとはどうあるべきかを理解し、目指すべき将来の会社イメージ、IPO銘柄に選ばれる会社の条件をじっくり考えていただきたいと思います。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

### 開催スケジュール

※プログラムは諸事の都合により予告なく変更する場合があります。

第1回	2月17日 (火)	13:30~17:00	『 IPO銘柄に選ばれる Good Company と 早期上場を目指すポイント 』
第2回	3月3日 (火)	13:30~17:00	『 業績向上にIPOを役立て早期上場を実現する コーポレートストーリーの考え方 』
第3回	3月17日 (火)	13:30~17:00	『 企業防衛にIPOを役立て早期上場を実現する マネジメント体制の考え方 』

#### ◆ 主な講師陣 ◆

株式会社アイ・コンセプト/あいわ税理士法人/株式会社エルテス/社会保険労務士法人 大野事務所/株式会社オロ/株式会社タスク(宝印刷グループ)/新日本有限責任監査法人 ほか

詳細・申込はこちらから



～上場会社として東京オリンピックを迎えるためのIPOセミナー～

# IPO銘柄に選ばれるGood Companyと 早期上場を目指すポイント

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます

本セミナーでは、2014年に新規上場した会社の傾向を分析しつつ、IPOするための条件を読み解き、合わせて上場会社になるための必須知識や早期上場を実現するための準備作業の流れを説明します。

また、過去のトレンドから「あるべきIPO銘柄」の企業像を読み解きながら、上場審査のポイント、最近のIPOの重要論点、上場会社となった際に注意すべき事項等をお伝えし、IPOを成功させGood Companyになっていくために何をすべきかをズバツと！本音で！解説します。

ご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

開催日時

会場

2015年2月17日(火)

新宿センタービル48階

13:30 ~ 17:00 ( 受付開始 13:10 ~ )

MJSセミナールーム

受講料  
特別無料

事前  
登録制

先着  
100名

#### ◆セミナー内容◆

※プログラムは、諸事の都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

#### ◆第1部◆ 13:30~14:40 『 2014年新規上場の振り返りからIPO銘柄としての条件を追う! 』

2014年におけるIPOの最新動向をさまざまな角度から分析した結果をお知らせします。また過去のIPOを振り返りながら、早期上場のためのエッセンス、IPO銘柄の特徴、IPO銘柄として選ばれるGood Companyになるためのヒント、上場準備の進め方、IPO支援の仕組みなどIPOのために必要な基礎的事項全般を分かりやすく説明します。

講師:新日本有限責任監査法人 シニアパートナー 公認会計士 三浦 太

#### ◆第2部◆ 14:40~15:15

#### 『 IPO銘柄に選ばれるための上場審査ポイント から早期上場を実現する突破口を読む! 』

東証マザーズなど新興市場の審査基準の緩和によって、IPOはベンチャー企業の成長戦略にとっては欠かせない重要な選択肢になっています。しかし、最短かつ低コストでIPOを実現するためには、IPO上の各種課題についての正しい知識が不可欠なため、数多くの会社でIPO支援を手掛けているコンサルタントの立場から最新のIPO審査のポイントを説明します。

講師:株式会社タスク(宝印刷グループ) 代表取締役社長 山本徹弥

#### ◆第3部◆ 15:30~16:15 『 今、上場会社になが問われているのかを学ぶ! 』

IPO時およびIPOを実現させたのちに上場会社として取り組む課題を理解して新規上場を目指すことで、上場会社の中でも投資家により選ばれる銘柄になります。昨今の会社法、金商法、東証ルールなどの改定を中心に説明しながら、社外取締役、監査等委員会設置会社、スチュワードシップ・コード、コーポレートガバナンス・コード、IFRS適用などの考え方を伝えながら、上場会社として果たすべき優先事項、選択すべき事項を説明します。

講師:新日本有限責任監査法人 シニアパートナー 公認会計士 新居伸浩

#### ◆第4部◆ 16:15~17:00

#### 『 IPOをストップさせる労務コンプライアンスの課題と上場審査の労務管理ポイントを知る! 』

最近、上場準備中に、労務コンプライアンスの課題が生じてIPOが中断されるケースも散見されます。特に、業務に支障をきたす法令違反や労使トラブルなどは回避すべきです。また、上場会社であっても労務管理の失敗で社会や行政から糾弾される時代のため、IPO前に適切な各種労務対策を講じることが重要です。IPO上、労務管理で注意すべき点を、上場審査のポイントを絡めながら説明します。

講師:社会保険労務士法人 大野事務所 社会保険労務士 深田俊彦



～上場会社として東京オリンピックを迎えるためのIPOセミナー～

## 業績向上にIPOを役立て早期上場を実現する コーポレートストーリーの考え方

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます

最近の動きとして、IPO銘柄の絞り込みを証券会社等が始めており、事業計画書の出来不出来が今後のIPO審査を左右すると言っても過言ではありません。事業計画書は、魅力的かつ審査のトレンドに合致した作成が必須であり、また、内部統制の考え方も最近では取り入れることが重要になってきています。さらに、資本政策に関しては事業計画書との密接な関係を意識した立案も重要なポイントになっています。

本セミナーでは、IPO審査時の各種説明資料、IIの部と連動した事業計画書の作成ポイントを最新の審査トレンドも交えて説明し、業績向上に繋がるコーポレートストーリーの立て方を理解いただけます。さらに、事業の多角化や海外展開をも踏まえたコーポレートストーリーの展開も解説します。

ご多用のことと存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいませようご案内申し上げます。

敬具

開催日時

2015年3月3日(火)

13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:00~)

会場

新宿センタービル48階

MJSセミナールーム

受講料  
特別無料

事前  
登録制

先着  
100名

◆セミナー内容◆

※プログラムは、諸事の都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第1部◆ 13:30~15:00

『IPOを成功させる！事業計画の描き方』～自社のコーポレートストーリーを考える～

「事業計画書は俺の頭の中にある」。これはある意味正しいのですが、IPOを実現し、成長する企業となるためにはその思いを形にし、社内外の関係者に理解してもらい、どれだけの協力者を得られるかがポイントになります。今回はそのために必要な説得力を持つコーポレートストーリーの組み立て方と事業計画・予算策定プロセスについて明らかにします。

IPO志向会社が急増している現在、特にマザーズでは成長性が早期にIPOを成し遂げるための重要なキーを握っており、業績向上のためのコーポレートストーリーが欠かせません。IPO後の海外進出やM&Aも見据え、管理をすることにより売上高・利益を増加させる、いわゆる「第2の利益」を生む仕組みについても説明します。

講師：株式会社アイ・コンセプト 代表取締役 鈴木正士

◆第2部◆ 15:15~17:00

『資金調達を予定している企業必見！資本政策立案のポイント』

資本政策は絶対に後戻りができません。しかし、資本政策に取り掛かるのが遅れ、かつ検討が不十分なために、IPO直前で見直しを余儀なくされるケースが多々あります。とくにIPO前の資金調達時には、上場後の自社への望ましい株主構成を見据えて、事前に必ず検討しておくべき資本政策のポイントがあります。

本セミナーは、事業計画に沿った資本政策を具体的に立案する場合に重要となる「何をどの時期に実施するか」等について、実際使用される「資本政策シート」を用いて解説します。ストックオプションやオーナーの資産管理会社の活用など、最近のIPO事例を踏まえて、失敗しない資本政策立案のポイントを説明します。

また、成長企業に欠かせない海外進出における税務対策のポイントについても説明します。

講師：あいわ税理士法人 パートナー 税理士 杉山康弘

～上場会社として東京オリンピックを迎えるためのIPOセミナー～

## 企業防衛にIPOを役立て早期上場を実現する マネジメント体制の考え方

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

今後の新興市場へのIPOについては、内部統制報告書監査の3年間免除が決定しましたが、これはあくまでも監査法人による「監査」の免除であり、会社自身が行う内部統制報告書制度実施にはほとんど変化はないと言っても過言ではありません。逆に証券会社等がIPO銘柄の絞り込みを始めた現在、早い段階での自社による内部統制の構築がより選ばれる条件になってくるはずですが、しかし、金融庁によるルール改正等によって整備すべき内部統制レベルは従来よりもレベルは遥かに緩和されてきているので、小規模組織の会社がIPOする場合は、小人数での管理体制でIPOが認められる時代になっています。

本セミナーでは、IPOに求められる内部統制構築の実務を労務、システム構成、情報管理などに関して総合的な見地で見ながら、結果として企業防衛にも役立つ管理実務の最新トレンドを交えてお話しすると共に、会社規模などの実情を踏まえて身の丈に合った管理を徹底したうえで優れたマネジメント体制をどのように構築するのかを解説します。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいませようご案内申し上げます。

敬具

開催日時

2015年3月17日(火)

13:30 ~ 17:00 (受付開始 13:00~)

会場

新宿センタービル48階

MJSセミナールーム

受講料  
特別無料

事前  
登録制

先着  
100名

◆セミナー内容◆

※プログラムは、諸事の都合により予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第1部◆ 13:30~15:00

『内部統制・J-SOX全般と小規模組織の管理体制のあり方』

新興市場への新規上場会社に対する内部統制報告書監査の3年間免除が決定しましたが、これはあくまでも「監査」の免除であり、IPO実務上の変化はほとんどありません。逆に証券会社、監査法人が絞り込みを始めた現在、自社での構築がより求められています。かと言って以前と比べれば遥かに整備レベルは下がっているのは確かで、小規模な人数での管理体制でIPOを成し遂げられる時代になっています。

本セミナーではIPOに求められる内部統制構築の実務を最新のトレンドを交えて説明します。

講師：株式会社アイ・コンセプト 代表取締役 鈴木正士

◆第2部◆ 15:15~16:15

『20名の企業がいま「利益管理」の仕組みを構築すべき3つの理由』

2014年に新規上場を実現した77社のうち18社は従業員50名以下でした。それらの会社は従業員が何名の時に「利益管理」の仕組みを構築したのでしょうか？我々がご支援させていただいた会社ではIPOの4年前、20名の時に仕組みを導入しました。

「小規模の組織だから利益管理をしなくてもいい？」という言葉は、上場を達成する企業には該当しません。「利益管理」の仕組みをなぜ早く達成すべきなのか、本セミナーでは、昨年上場を果たした企業の実例を交えて説明します。

講師：株式会社オロ マーケティンググループ 西村 崇

◆第3部◆ 16:15~17:00

『IPOを目指す企業が留意すべきWebリスクについて』

スマートフォンやソーシャルメディアの爆発的普及により、Web上でのリスクマネジメントの重要性が高まっています。

Web上での風評や不適切な投稿が企業の業績や存続にまで影響を及ぼす事件が相次いでおります。

今回は、IPOを目指す企業様を対象に、上場準備の過程で、Web上での評判が業績や人材採用に影響を及ぼす可能性、およびリスクマネジメントの対策ポイントについてわかりやすく説明します。

講師：株式会社エルテス マネージャー 倉持武悦